



秋田への想い

〔秋田市観光クチコミ大使〕
野村不動産株式会社
法人営業本部 執行役員

かわむら じゅんいち
川村 純 一 氏

前職の金融機関勤務の際、平成20年から3年間秋田にお世話になりました。初めての東北地方での勤務ではありましたが、宮城出身の私にとって秋田は近く親しみの持てる場所でした。

当時はリーマンショックもあり世界全体も混沌とした世の中でした。秋田でも人口減と景気後退など深刻な問題がクローズアップされるなか、金融という仕事柄さまざまな方と秋田の経済について話す機会も多く、特に酒を酌み交わしながらの議論は尽きないものでした。余談ですが宴席における「練習」という習慣には多少の戸惑いを感じながら、いつも感じたのは秋田の方々の我慢強さと明るく人間性でした。そして秋田での生活が長くなればなるほど秋田に魅了されていきました。

秋田の魅力

秋田で暮らして個人的に感じたことは、先ず「食と文化」が豊かな県であること。秋田ではブランディングが成功している食べ物が多いと感じます。日本酒、お米、いぶりがっこ、じゅんさい、稲庭うどんなど全国的ブランドとして認知されている食べ物がこれほどまでに多いことは、他県ではあまり例のないことではないかと思えます。私自身もよく贈答品として秋田の名産品を送りますが、とても喜ばれるのです。

また重要無形民俗文化財が日本一多いことも魅力的です。男鹿のナマハゲ、秋田の竿燈、西馬音内の盆踊りなどインパクトのあるお祭りも多く、参加型イベントの好きな外国人の目にも大変魅力的に映ることと思います。食も文化も対外的に強く発信できるものが多いのが、秋田の大きな魅力ではないでしょうか。

次に行政と民間の一体感。例えば企業誘致や産業振興に対する情報発信も積極的に感じます。勤勉な土地柄なども魅力的な秋田へ、素晴らしい企業の進出が今後も増加してくるのではないのでしょうか。

またスポーツ振興に関しても「スポーツ立県あき

た」への行政と民間の一体となった取組等が、バスケットボールや高校野球等の活躍に繋がっているのではないかと感じます。秋田ファンとしては秋田のスポーツチームの活躍は嬉しい限りです。

関西と秋田

秋田を離れた後は、近畿、中国地方へと異動し、現在は大阪を中心にビジネスを展開しています。関西は関東と違い秋田から距離がありますが、関東以上に秋田ファンが多いように感じます。

歴史的に「秋田は江戸時代、西回り航路で京都と繋がりが深かったため文化や人の交流、神社参詣で江戸より京都・大阪の上方との関わりが深い」と言われますが、そのような理由もあるのではないかと思います。

関西は全国有数の日本酒出荷量を誇る地域ですが、秋田の銘酒は特に人気があり、直ぐに手に入れることが出来ます。また関西の方と秋田の話をする、旅行などで秋田へ訪問したことがある方々が多いのには大変驚かされました。

以前、何人かの企業経営者とともに大曲の花火を観た折には皆さん非常に感激し、たちまち秋田のファンになってしまいました。その方々が秋田の魅力をもっと多くの企業経営者に伝え、また実際に秋田を訪れたと聞いています。

今後も秋田市観光口コミ大使として「秋田の魅力」を発信し、秋田の産業そして観光振興に少しでもお役に立てればと思います。

■略歴

昭和39年	宮城県生まれ
平成元年	明治大学政治経済学部 卒業
同 年	野村証券株式会社 入社
平成20年	同 秋田支店長
平成24年	同 奈良支店長
平成26年	同 広島支店長
平成30年	野村不動産株式会社 執行役員